

土地改良事業計画書

--- 県営土地改良事業 ---

農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）

いけ しん ち く
池 新 地 区

事業主体 佐 賀 県

目 次

<p>第 1 章 目 的 1</p> <p>第 2 章 地域及び地積 1</p> <p> 第 1 節 地 域 1</p> <p> 第 2 節 地 積 1</p> <p>第 3 章 現 況 2</p> <p> 第 1 節 気象 2</p> <p> 1. 一般気象 2</p> <p> 2. 特殊気象 2</p> <p> 第 2 節 土地状況 3</p> <p> 1. 地形及び土壌 3～4</p> <p> 2. 土地分類 4</p> <p> 3. 土地利用の状況 5</p> <p> 4. 土地所有の状況 5</p> <p> 第 3 節 水利状況 6</p> <p> 1. 用水状況 6～8</p> <p> 2. 排水状況 8</p> <p> 3. 河川状況 8</p> <p> 第 4 節 道路現況 8</p> <p> 1. 道路概況 8</p> <p> 2. 主要道路一覧表 8</p> <p> 第 5 節 地域農業の概況 9</p>	<p>1. 産業別就業人口 9</p> <p>2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数 9</p> <p>3. 動力農機具及び主要家畜頭数 10</p> <p>4. 主要作物作付け状況 11</p> <p>5. 農業の動向 12</p> <p> 第 6 節 地域環境の概況 13</p> <p>第 4 章 一般計画 14</p> <p> 第 1 節 事業計画の要旨 14</p> <p> 1. 要 旨 14</p> <p> 2. 事業別面積 14</p> <p> 第 2 節 営農計画及び土地利用計画 15</p> <p> 1. 営農計画の概要 15</p> <p> 2. 土地利用区分 15</p> <p> 3. 作付方式 16</p> <p> 4. 生産計画 17</p> <p> 5. 労働改善計画 18</p> <p> 6. 級地別土地利用区分 18</p> <p> 7. 土地配分計画 18</p> <p> 第 3 節 用水計画 18</p> <p> 1. 計画基準年 18</p> <p> 2. 計画かんがい方式 18</p>
--	--

	3.計画用水系統	18		第9節	農用地整備計画	21
	4.計画用水量	18		1.区画整理	21	
	5.水源計画	19		2.暗渠排水	21	
第4節	排水計画	20		3.客土	21	
	1.計画基準雨量	20		4.農地保全	21	
	2.計画排水方式	20		5.農業用水(雑用水)	21	
	3.計画排水系統	20	第10節	老朽ため池改修計画	21	
	4.計画排水量	20		1.計画基準降雨	21	
	5.排水対策	20		2.計画洪水量	21	
	6.湛水検討	20		3.施設整備計画	21	
第5節	道路計画	20	第5章	主要工事計画	22	
	1.道路及び索道	20	第1節	用水施設	22	
	2.路線配置図	20		1.貯水池	22	
第6節	農用地造成計画	20		2.頭首工	22	
	1.農用地造成計画	20		3.揚水機	22	
	2.土壤改良	20		4.用水路	22	
第7節	洪水調節計画	21		5.その他かんがい施設	22	
	1.計画基準雨量	21	第2節	排水施設	22	
	2.計画洪水量及び調節量	21		1.排水水門	22	
	3.貯水池	21		2.排水機	22	
	4.洪水調節検討	21		3.排水路	22	
	5.管理計画	21		4.その他排水施設	22	
第8節	干拓計画	21	第3節	道路及び索道	22	
				1.道路	22	
				2.索道	22	

第4節	農用地造成	22
	1.農用地造成	22
	2.土壌改良	22
第5節	洪水調節施設	23
	1.貯水地	23
	2.頭首工及び導水路	23
第6節	干拓施設	23
第7節	農用地整備施設	23
	1.区画整理	23
	2.暗渠排水	23
	3.客土	23
	4.除礫	23
	5.農地保全	23
第8節	老朽ため池改修施設	24
	1.貯水池	24
	2.堤体補強施設	24
第6章	附帯工事計画	24
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	24
第8章	環境との調和への配慮	25

第9章	換地計画の概要	25
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	25
第2節	換地区の設定	25
	1.換地区の名称、所在、面積	25
	2.換地区を設定する理由	25
第3節	換地計画樹立の基本方針	25
	1.従前の土地の地積の基準	25
	2.用途別予定地積	26
	3.農用地集団化の方針	26
	4.非農用地換地の方法	26
第4節	土地の評価及び清算の方法	26
	1.評価の方法	26
	2.清算の方法	26
第5節	換地計画樹立の年度計画	26
第6節	換地処分の特則	26
第10章	事業費の総額及び内訳	27
第11章	効用	28
第12章	関連する事業	29
第13章	現況・計画図面	29
	1.地区概要図	29
	2.計画平面図	29
	3.堤体標準断面図	29
	4.堤体横断面図(1)	29
	5.堤体横断面図(2)	29
	6.堤体横断面図(3)	29
	7.取水施設一般図	29
	8.洪水吐一般図	29

第1章 目 的

本地区は、唐津(からつ)市相知(おうち)町に位置し、巖木川左岸の標高200mから550mの比較的傾斜の多い山林地帯となっている。かんがい用水は、本ため池に依存しているが、堤体は老朽化により脆弱化し、全線にわたり洗掘され、堤体からの漏水が著しく、特に底樋周辺の法尻からの激しい漏水が確認され、常時満水位にまで貯水がされていない状況である。また、取水施設や洪水吐は老朽化により機能が低下しており、このまま放置すると決壊の恐れがある。決壊による被害は農地、農業用施設はもちろん、公共施設にも多大な被害を与えることが想定され、早急な改修が必要である。

このため、本事業では、堤体断面の拡幅等の工事や法面保護施設の工事、及び斜樋や底樋の改修等を実施し、ため池等の決壊等の災害を未然に防止するとともに、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、あわせて一般公共施設等の被災防止を目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	<small>さがけん</small> 佐賀県 <small>からつし</small> 唐津市

第2節 地 積

(令和7年5月現在) (第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	山林・原野 (ha)	その他 (ha)	道・水路 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	唐津市	22.0	4.9				26.9	
合 計		22.0	4.9				26.9	

第3章 現況

第1節 気象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	和多田・唐津観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	昭和51年～令和4年	6月～10月	11月～5月	又は平均	
平均気温 (°C)		23.8	11.5	17.7	
降水量	平均 (mm)	1,196	757	1,953	
	基準年 (mm)	-	-	-	昭和19年
降水日数	平均 (日)	55	74	129	
	基準年 (日)	-	-	-	
根雪期間		-月-日～-月-日			
無霜期間		-月-日～-月-日			
最多風向		S	最大風速 (風向)	19.2 m/s (N)	最多風向発生時期:9月 最大風速発生年月日:R4.9.18

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
和多田・唐津観測所																
観測期間																
昭和51年～令和4年	量	日	率	量	日	率	量	日	率	量	日	率	量	日	率	
最大日雨量 (mm)	281	S60.6.25		270	H14.9.16		264	R3.8.14		255	H13.6.19		249	S58.7.16		
最大時間雨量 (mm)	92	S63.7.17		82	H11.6.29		82	H3.9.14		71	H3.6.9		70	H29.8.26		
最大4時間連続雨量 (mm)	181	H2.7.2	1/210	150	S28.6.26	1/56	136	S16.6.27	1/29	127	S29.9.25	1/19	121	S3.6.10	1/14	
最大連続雨量 (mm)	735	S28.6.17 ～28.6.29	1/55	708	T3.6.15 ～3.6.28	1/47	695	S60.6.18 ～60.7.11	1/43	693	S37.6.24 ～37.7.8	1/43	644	S61.7.4 ～61.7.25	1/31	
最大連続干天日数(日)	71日	S14.11.23 ～14.2.1	1/200	63日	S19.11.30 ～19.1.30	1/80	60日	H7.11.15 ～7.11.3	1/57	59日	S42.8.15 ～42.10.12	1/51	56日	S58.10.27 ～58.12.21	1/35	

3. 海象 該当なし

第2節 土地状況

1.地形及び土壌

(第4表 - 1 - 1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高 (m)		備考	
		1/1,000 未満	1/1,000 ~ 1/100	1/100 ~ 1/20	1/20 ~ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ~ 8°	8°~15°			15° ~ 20°	20° 以上	計	最高		最低
										8°~ 12°	10°~ 15°	8°~ 15°						
農村地域防災減災事業 (防災重点 農業用ため 池緊急整備 事業)	面積 (ha)			15.2	1.4	5.4	22.0	3.4	1.5						4.9	357.5	45.0	
	比率 (%)			69.1	6.4	24.5	100	69.4	30.6						100.0			
合計	面積 (ha)			15.2	1.4	5.4	22.0	3.4	1.5						4.9	357.5	45.0	
	比率 (%)			69.1	6.4	24.5	100	69.4	30.6						100			

土壌統(区)区分

(第4表 - 1- 2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考	
	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材	事 業 名				
	色	腐 食	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層	農 村 地 域 防 災 減 災 事 業 (防 災 重 点 農 業 用 た め の 池 緊 急 整 備 事 業)	計		
					表 土 一 層	下 層 土 二 層	三 層							
黄褐色土壌	黄褐色	なし	なし	なし	CL	CL	CL	なし	集積	堆積岩	26.9		26.9	
計											26.9		26.9	

土壌の流亡・浸食 該 当 な し

2. 土 地 分 類 該 当 な し

3. 土地利用の状況

(令和7年5月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林					
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	唐津市	22.0	4.9									26.9		
合計		22.0	4.9									26.9		

4. 土地所有の状況

(令和7年5月1日) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	集落有	市町村有	都道府県有	国有	計	備考
		面積 (ha)	26.9					
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	受益者数 (人)	51					51	受益戸数、同意署名簿より
	筆数 (筆)	382					382	
	権利関係備考 (関係戸数)	51					51	
	面積 (ha)	26.9					26.9	
合計	受益者数 (人)	51					51	受益戸数
	筆数 (筆)	382					382	
	権利関係備考 (関係戸数)	51					51	

第3節 水利状況

1. 用水状況

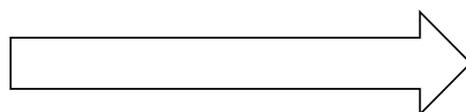
本地区は、本ため池を主水源としており、一部では反復利用により用水を確保している。

(1) 用水系統 池新ため池 → 用水路 → A=26.9ha(水田:22.0ha、畑4.9ha)

現況用水系統図

現況＝計画

池新ため池



地目	面積	必要水量	備考
水田 代掻時	22.0 ha	0.061 m ³ /sec	
水田 普通時	22.0 ha	0.022 m ³ /sec	
畑 普通時	4.9 ha	0.0039 m ³ /sec	

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /s	備考
		100 ha 以上		100ha~30ha以上		30 ha 未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	貯水池					1	26.9	1	26.9				0.061	0.061	(ため池)
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	26.9	1	26.9				0.061		
合計					1	26.9	1	26.9				0.061			

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	貯水池	1 箇所	26.9	傾斜遮水ゾーン型	堤高 18.3m 貯水量 156千m ³	築造昭和元年~昭和19年 更新:昭和49年	堤体の老朽化に伴う漏水量の増加及び、洪水吐の能力不足による改修	
	井堰	箇所						
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	m m						
	その他	箇所						
計		1 箇所	26.9					
合計		1 箇所	26.9					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他の被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表 - 3 - 3)

事業名	ため池名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
		田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	池新	36.68	4.87	21.8	63.35	28	504	1,886	2,104	2,668	7,190	想定被害額は、R6年度換算
	計	36.68	4.87	21.8	63.35	28	504	1,886	2,104	2,668	7,190	
合計		36.68	4.87	21.8	63.35	28	504	1,886	2,104	2,668	7,190	

2. 排水状況 該当なし

3. 河川状況 該当なし

第4節 道路現況 該当なし

1. 道路概況 該当なし

2. 主要道路一覧表 該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	砂鉄採掘業 利採取業	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道業 (人)	運輸通信業 (人)	飲食店 小売業 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
唐津市		56,466	5,197	69	664	62	5,731	7,102	827	2,724	7,836	752	506	22,199	1,862	935	「令和2年国勢調査」より
計		56,466	5,197	69	664	62	5,731	7,102	827	2,724	7,836	752	506	22,199	1,862	935	
比率 (%)		100.0	9.20	0.12	1.18	0.11	10.15	12.58	1.46	4.82	13.88	1.33	0.90	39.31	3.30	1.66	

2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

(第7表-2)

市町村名	区分	総農家戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)						1戸当たり平均農用地面積 (ha)					主副業別農家数 (戸)			備考		
			0.5未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	主業		準主業	副業
唐津市		3,449	386	860	788	275	194	76	870	1.40	3.30	6.54	11.24	1.40	12.64	1,156	707	1,337	870
計		3,449	386	860	788	275	194	76	870	1.40	3.30	6.5	11.24	1.62	12.86	1,156	707	1,337	870
比率 (%)		100.0	11.2	24.9	22.8	8.0	5.6	2.2	25.2	10.9	25.7	50.9	87.4	12.6	100.0	33.5	20.5	38.8	25.2

「2020、2015農林業センサス」より

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	動力農機具						主要家畜								備考
	トラクター		コンバイン		田植機		乳用牛		肉用牛		豚		ブロイラー		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	出荷数量 (百羽)	経営体数 (経営体)	
唐津市	2,963	2,361	1,532	1,443	1,706	1,659	550	16	—	143	18,907	10	31,080	7	肉用牛は未公表のため「X」とした
計	2,963	2,361	1,532	1,443	1,706	1,659	550	16	—	143	18,907	10	31,080	7	
100戸当たり数量 (台, 頭)	125		106		103		3,438		—		189,070		444,000		
利用戸数割合 (%)	71.7%		43.8%		50.4%		0.5%		6.3%		0.4%		0.2%		

動力農機具は「2015農林業センサス」、主要家畜は「2020農林業センサス」より

4. 主要作物作付け状況

(第7表-4)

市 町 村 名	唐津市									計	作付割合 (%)	備 考
経営耕地面積 (ha)	6,480									6,480		
区 分	作付面積									作付面積		
作物名	(ha)									(ha)		
水 稻	2,060									2,060	68	
大 豆	7									7	0	
二条大麦	162									162	5	
たまねぎ	219									219	7	
そば	3									3	0	
ばれいしょ	17									17	1	
ねぎ	85									85	3	
きゅうり	31									31	1	
みかん類	358									358	12	
茶	87									87	3	
計	3,029									3,029		

第70次佐賀県農林水産統計年報(令和4~5年度版)農林水産省調査(田)

政府統計の総合窓口 作物統計調査 作付け調査(野菜)確報 令和5年野菜生産出荷統計

農林業センサス2020(樹園地)

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家		土 地		主要作物			主 要 家 畜			動力機械具			地域 指定等	備 考		
		B	A		B	A		B	A		B	A					
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	114	94	経営耕地	86	72	水稻	79	84	乳用牛	59	43	トラクター	87	—	<公園・緑地等> ・八幡岳県立自然公園第3種特別地域 (59ha・昭和45年) ・天山県立自然公園第3種特別地域 (59ha・昭和45年) ・作礼山鳥獣保護区 (465ha・平成6年) ・岸岳鳥獣保護区 (24ha・平成12年) <農業関連> ・農業振興地域 (平成9年) ・野菜指定産地 (昭和52年・たまねぎ)	A: 令和2年 (2020年) B: 平成27年 (2015年) C: 平成22年 (2010年)
	主業農家数	111	—	田	85	73	大豆	—	—	肉用牛	—	—	コンバイン	84	—		
	準主業農家数	73	—	畑	89	147	大麦	90	91	豚	120	80	田植機	78	—		
	副業的農家数	103	—	樹園地	86	63	小麦	—	—	採卵鶏	84	53					
	農業従事者数	86	67	草地						ブロイラー	139	158					
変化の理由	農家の高齢化に伴う離農や農産物の価格低迷等による他産業への流出・従事により農家数の減少。			住宅や工場の開発行為等の農地転用による耕地面積の減少。樹園地は農家の高齢化による労働力の不足により、一時畑への転換が行われたが、耕作放棄地が進行している。			水稻作付けの増。			農家の高齢化による離農や経営規模の縮小等により乳用牛、豚、採卵鶏の減少。ブランド化による高収益のブロイラー増。			統計不可				

農家・土地・大家畜・動力機械具は「農林業センサス 第1巻都道府県別統計書(全47冊) 佐賀県」より

※空欄は、データが公表されていなかったため、反映できなかったもの

主要作物は「農林水産省 作物統計調査」より

第6節 地域環境の概況

（地域の位置、地形、気候）

唐津市相知町の周囲には、南に八幡岳、東に作礼岳、西に岸岳がそびえ、盆地的地形をなしている。圃場は、中央を流れる厳木川、松浦川に沿って広がり、それに続いて、山麓の果樹園地さらには山林地帯となっている。また、周囲を山に囲まれ一盆地を形成しているため、夏は高温多湿で集中豪雨が多い。年間の平均気温は、15℃から16℃で比較的温暖であり、年間の雨量は、平均2,000mm程度である。

（植物）

本町は厳木川を境にして、その北部と南部では地質が違っており、そこに生えている植物相にもそれぞれ異なった特徴が見られる。また、北部では、ジュンサイ、ヒツジクサ、ダイヤモンドソウ、キンシバイ、ブナ、ヤマボウシが見られ、南部では、キツネノカミソリ、スジヒツツバ、チドリノキ、ケヤキなどが見られる。

（動物）

鳥類では、カイツブリ、コサギ、マガモ、コガモ、トビ、イワシヅメ、メジロ、ホトギス等多種類の鳥が生息している。また、河川の湿地やため池や水が張られた田んぼには、多くのトンボ類、オタマジャクシ、ゲンジボタル、カジカ、サワガニ、ハヤ、アユ、オイカワ等多種類の水生小動物が生息している。

（景観）

本町は四方を緑豊かな山に囲まれ、山麓には小川や棚田があり、平坦部は河川沿いに圃場が広がっている。この景観は、山村的で緑豊かな田園風景を醸し出している。また、四方を囲んでいる山々は岳の名が入っているように急峻であり、山間に開かれた棚田は特徴のある景観を形成している。特に、日本の棚田百選に選定された蕨野地区の棚田は、遠景ではピラミッドのような全景、中景では山城のような石積みの連続景観、近景では見事な巨石石積みの景観を醸し出している。

（本事業と環境への対応）

本地域は、環境配慮区域に位置する事から、工事施工時において環境周辺に影響を及ぼさないよう十分な工法の検討が必要である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本ため池は、地区のかんがい用水源として重要な役割を果たしているが、堤体は老朽化により脆弱化し、全線にわたり洗掘され、堤体からの漏水が著しく、特に底樋周辺の法尻 からの激しい漏水が確認される。このため常時満水位にまで貯水がされていない状況である。

また、取水施設や洪水吐は老朽化により機能が低下しており、このまま放置すると決壊の恐れがある。決壊による被害は農地、農業用施設はもちろん、公共施設にも多大な被害を与えることが想定され、早急な改修が必要である。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)												合計 (ha)	備考			
	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	小計	水田			普通畑	牧草畑	果樹園
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
用水改良	22.0	4.9	-	-	-	26.9											26.9
						0.0											
計	22.0	4.9	-	-	-	26.9											26.9

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

八幡岳の標高150～420メートルまでの斜面に約40ha、1050枚の田が広がっている蕨野地区の棚田は、平成11年7月26日、「日本の棚田百選」に選ばれ、耕作者は51人で26ha(水田22ha、畑4.9ha)を栽培している。相知町のブランド米である棚田米「蕨野」(品種:夢しずく)は、生活雑排水が入らない清水で栽培されており、「2001年九州米サミット」の普通作部門で最優秀賞を受賞するなど、安全でおいしいお米として高い評価を得ている。また、蕨野地区では減農薬・減化学肥料にこだわった米づくりを進めており、平成15年10月には佐賀県特別栽培農産物の認証を受け、さらにおいしい米の生産に取り組んでいる。

引用:佐賀県HP(棚田百選めぐり 蕨野の棚田)

2. 土地利用区分

(第9表 - 1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	区分												
農村地域防災減災事業 (防災重点農業 用ため池緊急 整備事業)	現況	22.0	4.9					26.9				26.9	
	計画	22.0	4.9					26.9				26.9	計画面積は現況面積と同じ
計	現況	22.0	4.9					26.9				26.9	
	計画	22.0	4.9					26.9				26.9	

4. 生産計画

(第9表 - 3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
	土地利用区分																
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	水田	表作	水 稻	19.7	19.7		100.0	100.0	495	495		97.5	97.5		—	—	本地面積 19.7ha
	普通畑	裏作															
		春夏作															
		秋冬作	二条大麦	4.36	4.36		100.0	100.0	361	361		15.7	15.7		—	—	本地面積 4.4ha
	計			24.1	24.1												
	計																

- 5. 労働改善計画 該当なし
- 6. 級地別土地利用区分 該当なし
- 7. 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画

- 1. 計画基準年 昭和19年
- 2. 計画かんがい方式 自然取水
- 3. 計画用水系統 山林・ため池 → 池新地区(A=22ha:水田、A=4.9ha:畑) ※現況用水系統と同様
- 4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表 - 1 - 1)

項目 系統名	種別	受益面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名		普通期	代かき期	面積 (ha)	1日当たり 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	1日当たり 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計画 平均単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均	最大	
		農村地域防災減災 事業 (防災重点農業用 ため池緊急整備事 業)	計画 平均単位 用水量 (mm/日)	計画代掻 単位 用水量 (mm)															
池新地区	農業 用水	22.0 4.9	15	150	22.0				5	3	4.9			0.048	15	0.063	0.089		
計		26.9	15	150	22.0				5	3	4.9								

(2) 営農飲雑用水 該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表 - 3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)		純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
			事業名						
	直接	間接	農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	計					
池新	0.685		26.9	26.9	135.2	135.2	2	0.0255	

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(ウ) 揚水機

該当なし

(エ) 用水路

該当なし

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

- | | |
|-----------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画排水方式 | 該当なし |
| 3. 計画排水系統 | 該当なし |
| 4. 計画排水量 | 該当なし |
| 5. 排水対策 | |
| (1) 排水水門 | 該当なし |
| (2) 排水機 | 該当なし |
| (3) 排水路 | 該当なし |
| 6. 湛水検討 | 該当なし |

第5節 道路計画

- | | |
|-----------|------|
| 1. 道路及び索道 | 該当なし |
| 2. 路線配置図 | 該当なし |

第6節 農用地造成計画

- | | |
|------------|------|
| 1. 農用地造成計画 | 該当なし |
| 2. 土壌改良 | 該当なし |

第7節 洪水調節計画

- | | |
|---------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | 該当なし |

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

- | | |
|--------------|------|
| 1. 区画整理 | 該当なし |
| 2. 暗渠排水 | 該当なし |
| 3. 客土 | 該当なし |
| 4. 農地保全 | 該当なし |
| 5. 農業用水(雑用水) | 該当なし |

第10節 老朽ため池改修計画

- | | |
|-----------|---|
| 1. 計画基準降雨 | $r=105.10\text{mm}$ (1/200年確立降雨強度) |
| 2. 計画洪水量 | $Q=1/3.6 \times 105.10 \times 0.835 \times 0.685=16.70\text{m}^3/\text{sec}$ |
| 3. 施設整備計画 | 洪水吐:側水路流入式(コンクリート三面水路)
法面保護施設 上流法面保護のため、張ブロック等(2,796 m^3)
漏水防止工 堤体断面の拡幅(前刃金工法(9,600 m^3))
斜樋(塩ビ ϕ 250mm) 取水孔(ϕ 150mm \times 32孔:階段式取水栓)
底樋(ヒューム管 ϕ 1,100mm) 土砂吐ゲート 1,100mm 1門
緊急放流孔(塩ビ ϕ 500mm) |

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- | | |
|--------------|------|
| 1. 貯水地 | 該当なし |
| 2. 頭首工 | 該当なし |
| 3. 揚水機 | 該当なし |
| 4. 用水路 | 該当なし |
| 5. その他かんがい施設 | 該当なし |

第2節 排水施設

- | | |
|------------|------|
| 1. 排水水門 | 該当なし |
| 2. 排水機 | 該当なし |
| 3. 排水路 | 該当なし |
| 4. その他排水施設 | 該当なし |

第3節 道路及び索道

- | | |
|-------|------|
| 1. 道路 | 該当なし |
| 2. 索道 | 該当なし |

第4節 農用地造成

- | | |
|----------|------|
| 1. 農用地造成 | 該当なし |
| 2. 土壌改良 | 該当なし |

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当なし

2. 暗渠排水 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 除礫 該当なし

5. 農地保全 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	池新ため池				位置	佐賀県唐津市相知町大字平山上字池		
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
	前刃金	— 0.685	— 16.8	-14 126.0	21,500 123,300	1.31 5.0	-20.8 135.2	改修量を記載 改修後
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
	側水路流入式	16.2	14.4			塩ビ管	0.061	改修後

2. 堤体補強工事

(1)法面保護施設

上流法面保護のため、張ブロック(2,721m²)と張コンクリート(74.3m²)を計画

(2)漏水防止工

堤体断面の拡幅と前刃金工法(9,600m²)を計画

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和7年度
完了 令和11年度

第8章 環境との調和への配慮

当地区は、唐津市で策定している田園環境マスタープランにおいて、環境配慮区域に位置づけられていることから、対策として以下に掲げる配慮を行う。

【配慮内容】

○工事施工時の配慮

- ・親水性・景観性の整備促進、自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した施工を行う。必要に応じて関係機関との連絡調整等を行う。
- ・工事中の土砂流出や濁水流出防止を図る。

○生物・自然植生への配慮

- ・ため池の工事に伴い、貯留した水を一時的に排出する場合、魚類等への影響が生じる可能性がある。また、工事中にため池下流へ土砂流出や濁水流出が発生した場合、下流水路における水生生物への影響が生じる可能性がある。工事中に配慮すべき動植物の生息が確認された場合は、関係部局と協議し、保護移植等の対策を講じる。魚類については、貯水池落水前に可能な限り捕獲を行い、下流水路への放流など配慮を行う。

第9章 換地計画の概要	該当なし
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	該当なし
第2節 換地区の設定	
1. 換地区の名称、所在、面積	該当なし
2. 換地区を設定する理由	該当なし
第3節 換地計画樹立の基本方針	該当なし
1. 従前の土地の地積の基準	該当なし

2. 用途別予定地積 該当なし

3. 農用地集団化の方針 該当なし

4. 非農用地換地の方法 該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 該当なし

2. 清算の方法 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

区分	事業名 農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業) (千円)	備考
主要工事	・堤体工	420,000 R6年度単価
	・法面保護工	62,000
	・取水施設工	86,000
	・洪水吐工	90,000
	・付帯施設工	14,000
	・仮設工	31,000
	・測量試験費	25,000
	・用地補償費	2,000
	・工事雑費	14,000
計		744,000
事務費		22,000
合計		766,000

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年総効果(便益)額(百万円)	年増加農業所得額(百万円)	現況年総農業所得額(百万円)	備 考
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	食料の安定供給の確保に関する効果	△ 0.1	△ 0.1	6	年総効果(便益)額:維持管理節減効果 現況年総農業所得額:作物生産効果
	農業の持続的発展に関する効果	106	-	-	災害防災効果(農業関係資産)
	農村の振興に関する効果	117	-	-	災害防止効果(一般資産)
	多面的機能の発揮に関する効果	92	-	-	災害防止効果(公共資産)
	計	314	△ 0.1	6	令和6年度単価

(参考)

総便益(現在価値化)	=	6,506,747 千円		
			※評価期間内で発生する効果額	
総費用(現在価値化)	= 当該事業+関連事業費	= 571,544 千円	+ 0 千円	= 571,544 千円
			※評価期間内に必要な整備費	
年償還額	=	1,063 千円	うち機能向上分	= 1,063 千円
			※年償還額を代入	
現況年総農業所得額	=	5,689 千円	年増加農業所得額	= -114 千円
評価期間(当該事業の工事期間+40年)	=	45 年	うち、工事期間	= 5 年
		総便益(現在価値化) 6,506,747 千円		
・総費用総便益比	=	$\frac{6,506,747}{571,544}$	=	$\boxed{11.38} \geq 1.00$
		総費用(現在価値化) 571,544 千円		
		年償還額 1,063 千円		
・所得償還率	=	$\frac{1,063}{5,689}$	=	$\boxed{0.19} \leq 0.2$
		現況年総農業所得額 5,689 千円		
		年償還額のうち機能向上分 1,063 千円		
・増加所得償還率	=	$\frac{1,063}{-114}$	=	$\boxed{-9.32} \leq 0.4$
		年増加農業所得額 -114 千円		

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

- 1. 地区概要図 別紙参照
- 2. 計画平面図 別紙参照
- 3. 堤体標準断面図 別紙参照
- 4. 堤体断面図(1) 別紙参照
- 5. 堤体断面図(2) 別紙参照
- 6. 堤体断面図(3) 別紙参照
- 7. 取水施設一般図 別紙参照
- 8. 洪水吐一般図 別紙参照

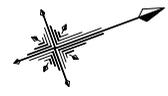
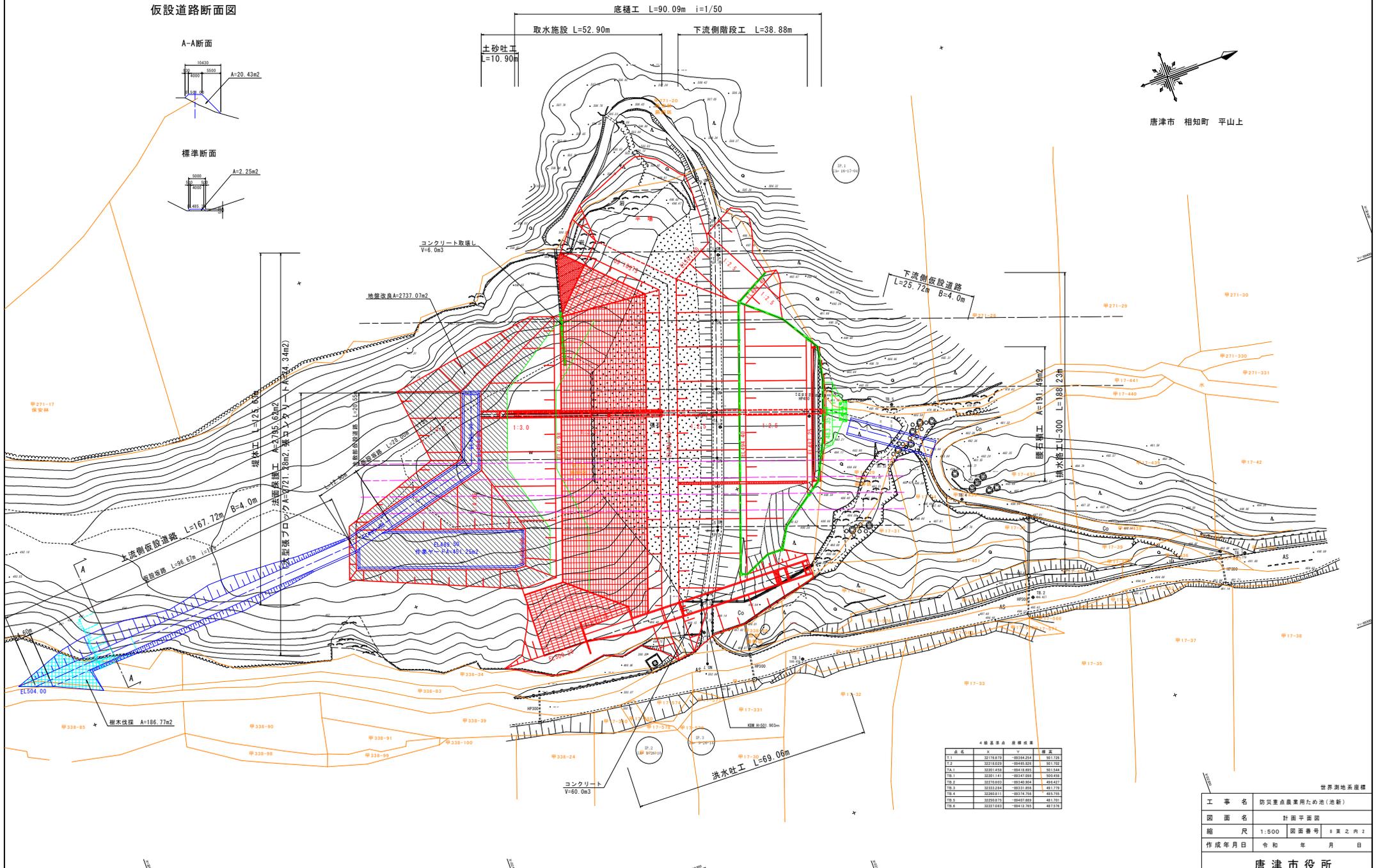
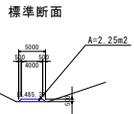
(別紙)

県営農村地域防災減災事業(防災重点農業用ため池緊急整備事業)		
図 面 目 録		
唐津市		
番号	図 面 の 名 称	枚 数
1	地 区 概 要 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	堤 体 標 準 断 面 図	1
4	堤 体 横 断 図 (1)	1
5	堤 体 横 断 図 (2)	1
6	堤 体 横 断 図 (3)	1
7	取 水 施 設 一 般 図	1
8	洪 水 吐 一 般 図	1
計		8

計画平面図

S=1:500

仮設道路断面図



唐津市 相知町 平山上

4級基準点 座標成果

点名	X	Y	標高
T.1	321780.719	-82184.214	401.725
T.2	321780.929	-82480.214	391.752
TA.1	32201.438	-82418.214	391.442
TR.1	32201.143	-82417.214	390.642
TR.2	32225.653	-82480.214	404.427
TR.3	32232.244	-82371.214	401.775
TR.4	32260.111	-82724.214	403.252
TR.5	32250.715	-82407.214	401.722
TR.6	32221.053	-82412.214	401.733

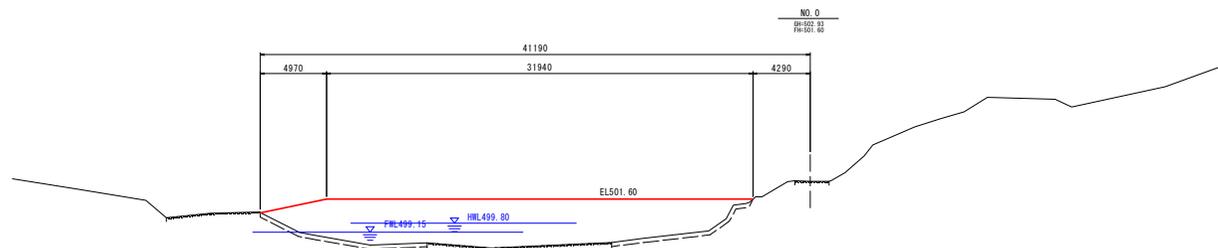
世界測地系座標

工事名	防災重点農業用ため池(港新)	
図面名	計画平面図	
縮尺	1:500	図面番号 8頁之内2
作成年月日	令和	年 月 日
唐津市役所		

堤体横断図(1)

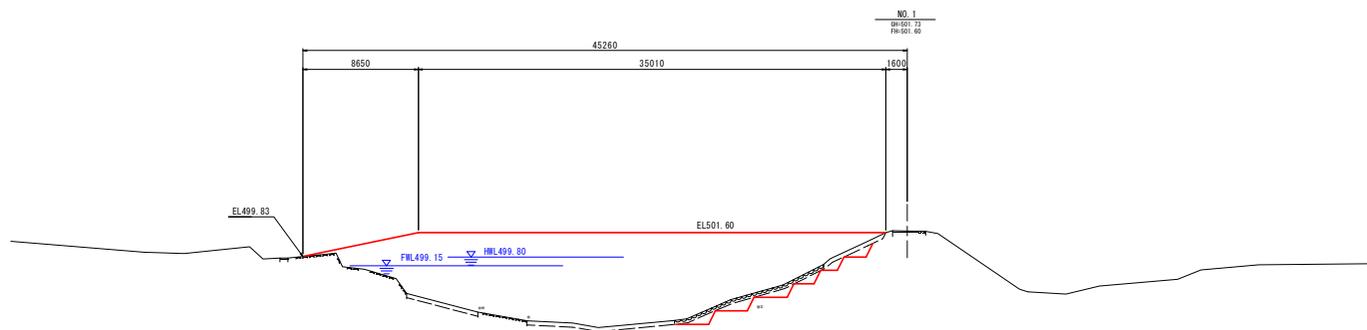
S=1:200

DL=500.000



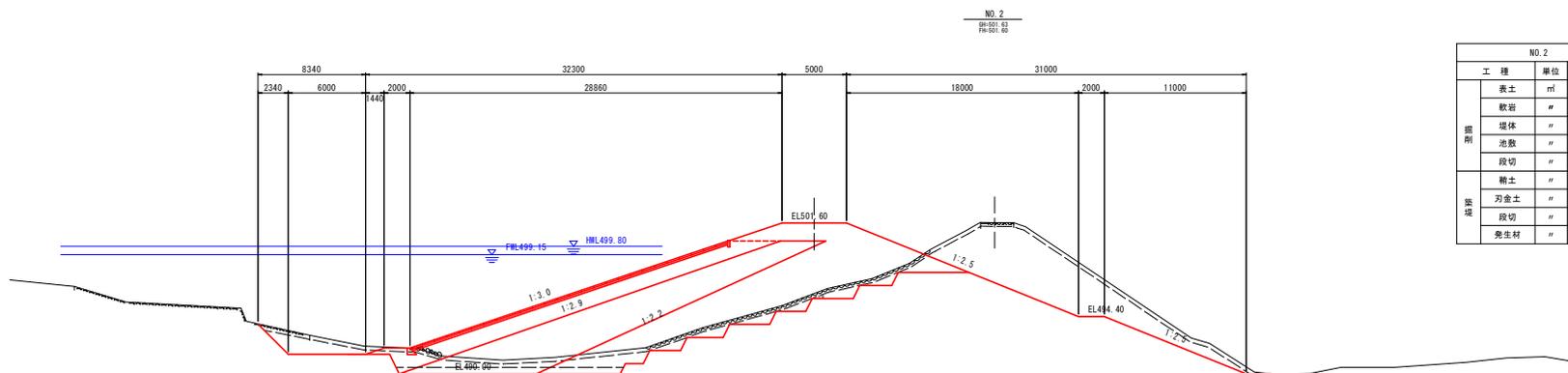
NO. 0			
工種	単位	数量	
掘削	表土	m ³	7.3
	軟岩	m ³	-
	堤体	m ³	-
	池敷	m ³	-
	段切	m ³	-
築堤	粗土	m ³	110.8
	刃金土	m ³	-
	段切	m ³	-
	発生材	m ³	-

DL=495.000



NO. 1			
工種	単位	数量	
掘削	表土	m ³	10.1
	軟岩	m ³	-
	堤体	m ³	-
	池敷	m ³	-
	段切	m ³	-
築堤	粗土	m ³	204.1
	刃金土	m ³	-
	段切	m ³	-
	発生材	m ³	-

DL=495.000



NO. 2			
工種	単位	数量	
掘削	表土	m ³	25.0
	軟岩	m ³	8.7
	堤体	m ³	64.9
	池敷	m ³	20.2
	段切	m ³	8.2
築堤	粗土	m ³	128.8
	刃金土	m ³	72.1
	段切	m ³	8.2
	発生材	m ³	-

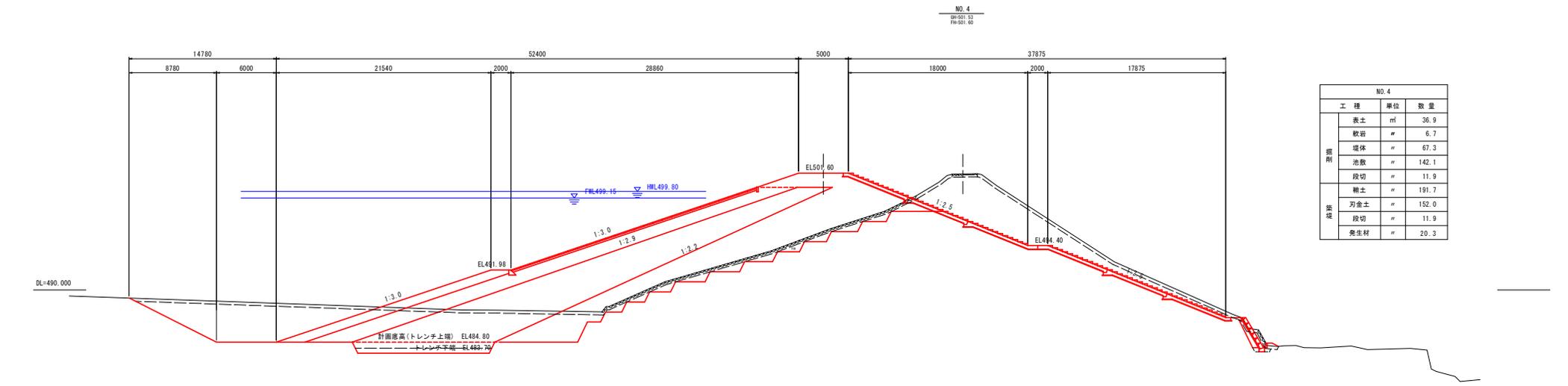
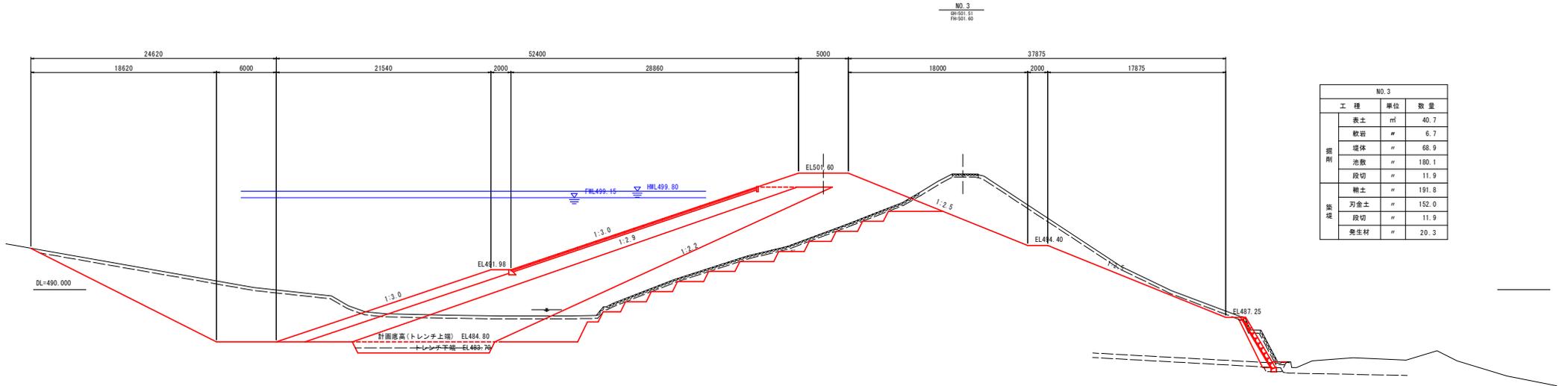


NO. 0~NO. 2

工事名	防災重点農業用の池(港新)		
図面名	堤体横断図(1)		
縮尺	1:200	図面番号	8頁之内4
作成年月日	令和	年	月 日
唐津市役所			

堤体横断図(2)

S=1:200



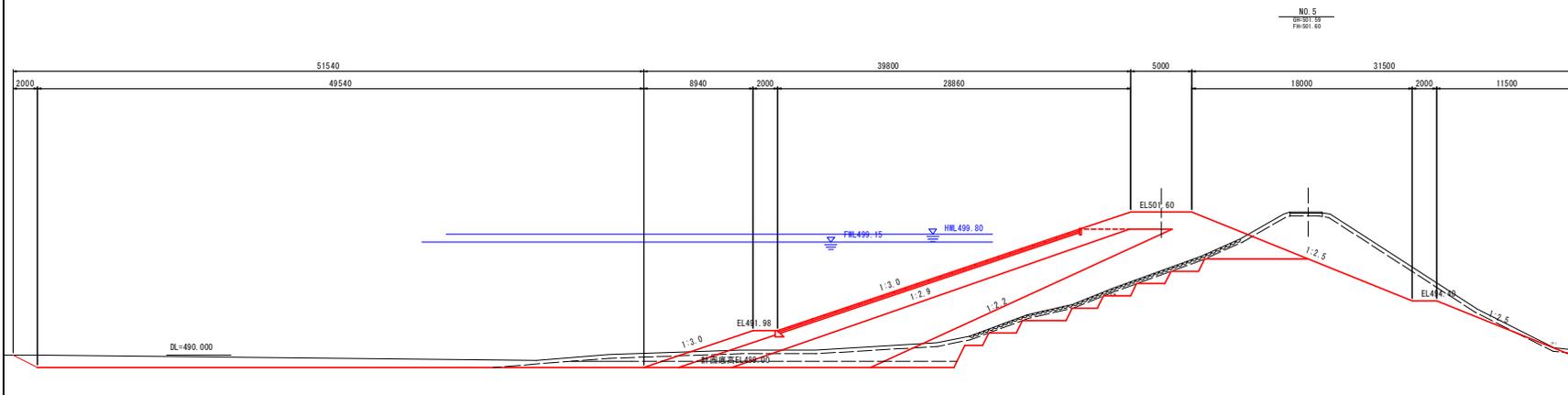
③ NO. 3~NO. 4

工事名	防災重点農業用ため池(池新)		
図面名	堤体横断図(2)		
縮尺	1:200	図面番号	8第之内5
作成年月日	令和	年	月 日

唐津市役所

堤体横断図(3)

S=1:200



NO.5
R=501.55
FH=501.60

NO.5			
工種	単位	数量	
掘削	表土	m ³	61.5
	軟岩	m ³	17.3
	堤体	m ³	52.8
	池敷	m ³	21.5
	段切	m ³	7.4
	輸土	m ³	130.4
築堤	刃金土	m ³	83.1
	段切	m ³	7.4
	発生材	m ³	8.3

③ NO.5~NO.7

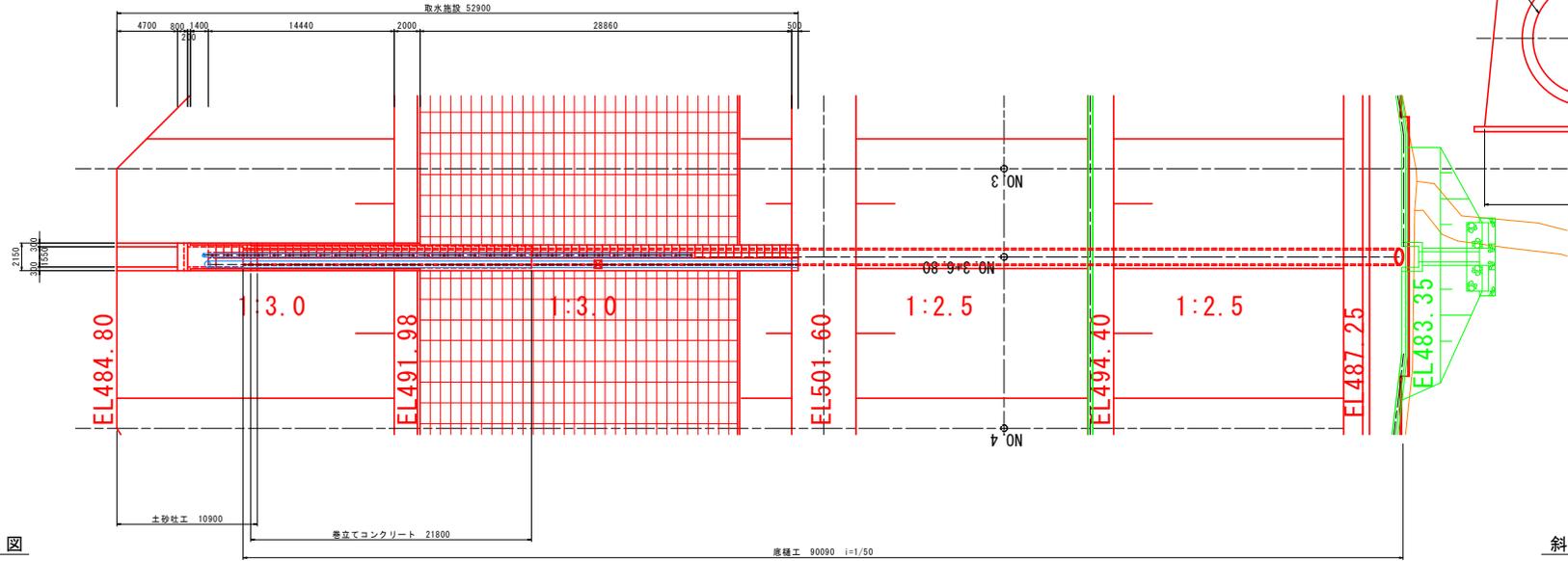
工事名	防災重点農業用ため池(池新)		
図面名	横断図(3)		
縮尺	1:200	図面番号	8第-丙4
作成年月日	令和	年	月 日

唐津市役所

取水施設一般図

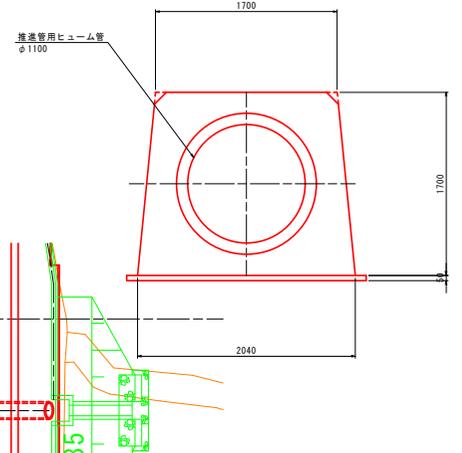
S=1:200

平面図

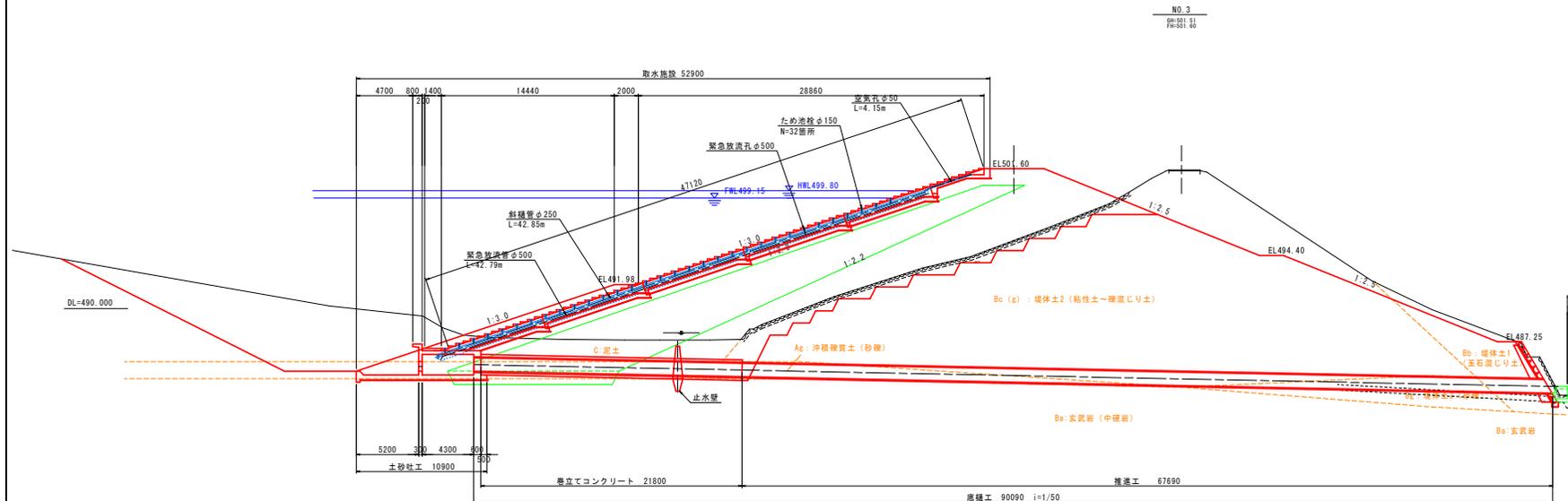


底樋断面図

S=1:25

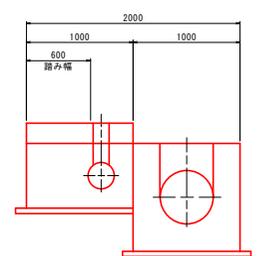


縦断面図



斜樋断面図

S=1:25



フロン設置位置

N=7箇所
2000×1200×500
(洗堰防止)

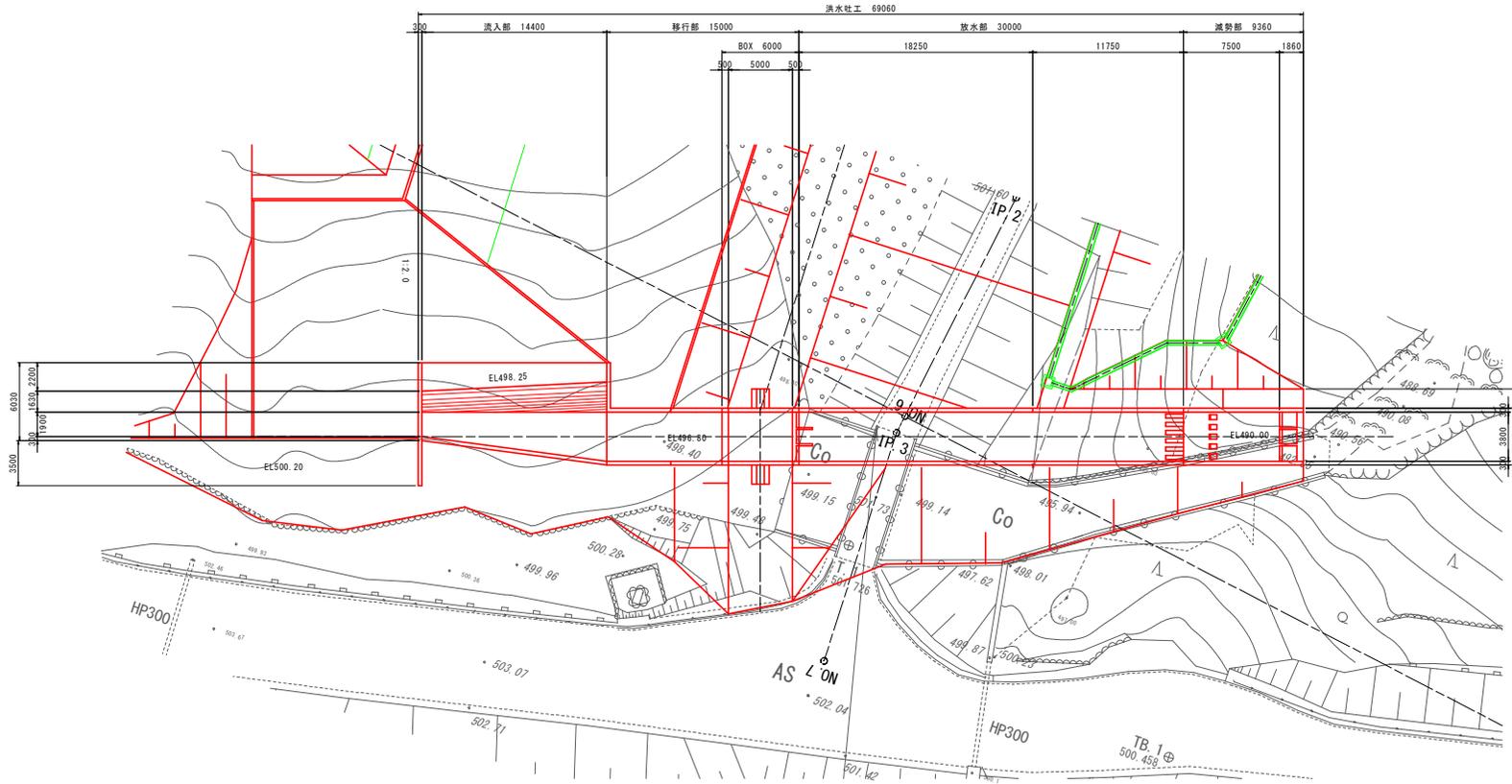
工事名	防災重点農業用ため池(港新)
図面名	取水施設一般図
縮尺	図示 図面番号 8頁之内7
作成年月日	令和 年 月 日

唐津市役所

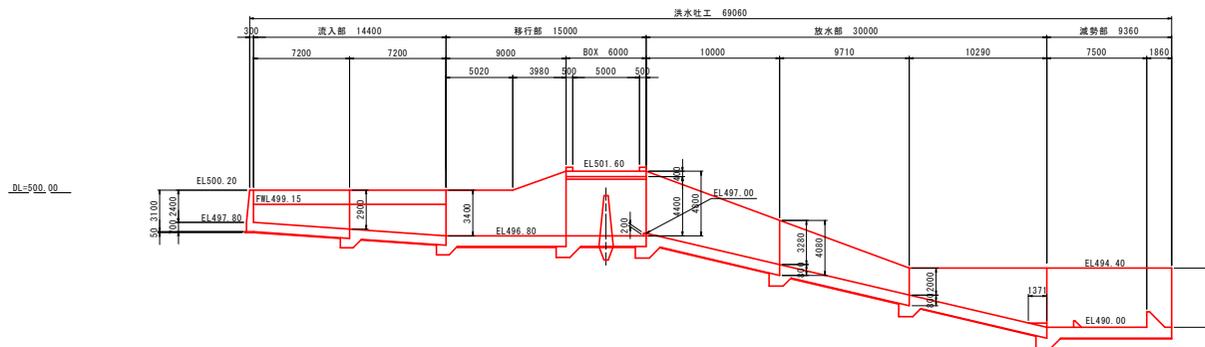
洪水吐一般図

S=1:200

平面図

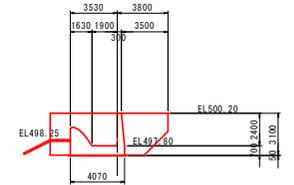


縦断面図



断面図

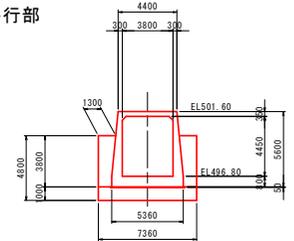
流入部(上流端)



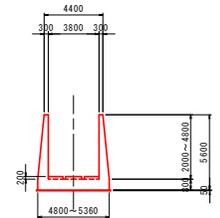
流入部(下流端)



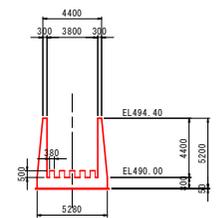
移行部



放水部



減勢部



工事名	防災重点農産用の池(池新)
図面名	洪水吐一般図
縮尺	1:200 図面番号 8第之内4
作成年月日	令和 年 月 日

唐津市役所